

「もういっぽん！」  
柔道部顧問 夏目先生

先生になっ  
て

もういっ  
ぽん!

大切なのは

柔道がスキ!

そのキモチ

公益財団法人 全日本柔道連盟



# あなたも目指してみませんか



山 中 萩  
「自分是不器用でかなり迷惑をかけたが、先生のご指導があったからこそ今の自分があると思います。3年間本当にありがとうございました。」

そんな手紙のある柔道部卒業生にもう一つ。教師冥利に尽きる言葉だ。保健体育科教員になって18年、あつという間に過ぎた。思い返せば3月に大学を卒業して、4月になった瞬間、先生と呼ばれるようになった。つい数週間前まで先生の講義をだるそうに聞いていた生徒側だった私が、中身は全く変わらず先生という立場になっただけなのに、生徒からすると紛れもない先生だった。ただ、先生と言われた瞬間、背筋がすつと伸びたような感覚だったことを今でも覚えて

いた。立場が人を変えると云うが、目の前に生徒がいてくれるからこそ、私自身が教員でいられているとしばしば感じる。生徒に技術的なことを教え、試合で使えるようになり勝利してくれたこと、弱気になった生徒を叱咤激励し、涙を流して自分の弱さと同じ合せてくれたこと、3年間厳しく指導し続けてもなお歯を食いしばってついてきてくれ、人間的に本当に成長してくれたこと。全てが生徒のためと思って指導してきたことだったのに、実はそれら全ては不甲斐ない私自身を成長させてくれていたのだ。生徒たちには感謝しかない。

コロナ禍になり、人と人との距離が遠くなって今だからこそ、柔道という教育手段はとてつもなく大きな効果を得られると感じる。実際に組み合い、人の肌のぬくもりや息遣い、重みや衝撃、痛みを感じ、投げ合い抑え込み合う。相手がいるからこそ自分が柔道をできる。強くなればなるほど弱い者の気持ちを感じることが出来る。素晴らしい教育手段である柔道を通じて、生徒の人的な成長の一助を担うことができている。さらに自分の成長までも促すことができる。そんな素晴らしい職業である「教員」を一緒にしてみませんか？

「自分是不器用でかなり迷惑をかけたが、先生のご指導があったからこそ今の自分があると思います。3年間本当にありがとうございました。」

そんな手紙のある柔道部卒業生にもう一つ。教師冥利に尽きる言葉だ。保健体育科教員になって18年、あつという間に過ぎた。思い返せば3月に大学を卒業して、4月になった瞬間、先生と呼ばれるようになった。つい数週間前まで先生の講義をだるそうに聞いていた生徒側だった私が、中身は全く変わらず先生という立場になっただけなのに、生徒からすると紛れもない先生だった。ただ、先生と言われた瞬間、背筋がすつと伸びたような感覚だったことを今でも覚えて

いた。立場が人を変えると云うが、目の前に生徒がいてくれるからこそ、私自身が教員でいられているとしばしば感じる。生徒に技術的なことを教え、試合で使えるようになり勝利してくれたこと、弱気になった生徒を叱咤激励し、涙を流して自分の弱さと同じ合せてくれたこと、3年間厳しく指導し続けてもなお歯を食いしばってついてきてくれ、人間的に本当に成長してくれたこと。全てが生徒のためと思って指導してきたことだったのに、実はそれら全ては不甲斐ない私自身を成長させてくれていたのだ。生徒たちには感謝しかない。

コロナ禍になり、人と人との距離が遠くなって今だからこそ、柔道という教育手段はとてつもなく大きな効果を得られると感じる。実際に組み合い、人の肌のぬくもりや息遣い、重みや衝撃、痛みを感じ、投げ合い抑え込み合う。相手がいるからこそ自分が柔道をできる。強くなればなるほど弱い者の気持ちを感じることが出来る。素晴らしい教育手段である柔道を通じて、生徒の人的な成長の一助を担うことができている。さらに自分の成長までも促すことができる。そんな素晴らしい職業である「教員」を一緒にしてみませんか？

## 生徒がいるから 私が教員でいられる

山口県立萩高等学校

田中 光



## 教職を将来の選択肢に

北斗市立上磯中学校

太多 諒



今年で教員になって9年目になりました。教員生活8年目にしてようやく柔道部のある学校に赴任し、顧問となることができました。改めて柔道に関わることができ、喜びと感謝を感じながら毎日過ごしています。

昨年度はコロナ禍にも関わらず、初心者4人入部し、現在は部員11名で活動しています。柔道の魅力や、上達していることを実感できる練習を本やネットを参考にしながら考える日々です。また生徒たちは地域の柔道教室でいろいろな先生の指導のもと練習しています。柔道教室で習ったことを学校で反復練習するなどして、たくさんの方と一緒にレベルアップに励んでいます。接触練習の制限や予定していた大会が開催されず、残念な思いをすることもありますが、生徒たちと柔道を楽しむということを忘れずに、練習に励む日々はとても充実しています。

私が感じる教員という仕事の魅力はなんといつても、生徒の努力や成長変化を知ることができることです。理科が嫌いだっただけで、一生懸命に勉強に向き合おうとした生徒が倒立前転までこなせるようになったり、そんな場面に出会えることが、私の日々の楽しさになっています。中でも生徒が上達し、試合で勝つ姿を見る時は自分の現役時代の勝利よりも嬉しく感じます。昨今、教員という職業のマイナスな面ばかりが世間に取り上げられがちですが、この仕事にはそれを超える喜びや感動があるということを知っておいていただければと思います。柔道も「痛い」、「怖い」が本質ではありませんよ。

学校にはいろいろな生徒がいます。その中には柔道をしてきた皆さんを必要としている生徒が必ずいるはず。学校で部活動をやりたい生徒が必ずいるはず。皆さんが教員になることで、1人でも多くの子供たちが柔道の素晴らしさを知る機会と、柔道ができる環境をつくっていただければと思います。

# 教職は一生の仕事です